

会 議 録

会 議 名	第 2 5 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 3 回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	令和元年 8 月 6 日 (火) 午前 1 0 時～ 1 1 時		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 生活室		
出 席 委 員	東委員、大島委員、大野委員、横須賀委員、長坂委員		
欠 席 委 員	杉井委員		
事 務 局 員	岡本主任、金子主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
会 議 次 第	1 報告事項 (1) 音楽鑑賞のつどいについて (2) 夢農園について 2 協議事項 (1) 来年度事業について 3 その他 日程の確認について		
会議結果(要旨記録)			
<p>司会：大野委員</p> <p>1 報告事項</p> <p>(1) 音楽鑑賞のつどいについて</p> <p>岡本分館長：8月3日実施した音楽鑑賞のつどいについて報告する。参加者が346人ということで、今までの音楽鑑賞のつどいの3倍の方の集まりだった。アンケートも大量に回収できたので、今後集約していく。今回の事業の状況等も踏まえて、来年度のことも考えていかなければならない。長坂委員は今年から委員になられたので、改めて予算の流れについて説明をする。我々は、毎年10月ごろに来年度予算の要求をしている。そのため、9月の企画実行委員会において、来年度実施する事業についてある程度整理をしておく必要がある。例えば、事業を減らす、増やすなどはその時に整理をしないとイケない。ただし、成人大学講座のように他者と連携しているものは、一方的に増減をすることはできない。この後の協議事項で整理をさせていただきたい。</p> <p>とりあえず、音楽鑑賞のつどいについては、多くの方の参加もあり、アンケートを集計して改めて報告をしたいと思っている。</p> <p>東委員：子どもの参加人数はわかるのか。</p> <p>横須賀委員：確か、21人だったと思う。</p> <p>大島委員：音楽鑑賞のつどいを小金井の観光まちおこし協会のブログにアップしてあるので、そちらもご覧いただきたい。</p> <p>岡本分館長：ちなみに、参加された方から、来年度の音楽鑑賞のつどいについても宮地楽器ホ</p>			

ールでやってほしいという要望は受けているが、来年度のことなので今の段階ではなんとも言えないところである。

大野委員：例えば、大島さんが、自分たち主催として有料で宮地楽器ホールを使ってやりたいと思っていないか。

岡本分館長：個人で借りて実施するのは問題ないが、その話は聞いていない。

大野委員：今後、他の館と連携して事業を実施していくことはできないか。

岡本分館長：今回も南分館と連携できないかと調整を試みたが、南分館の音楽鑑賞のつどいを実施したいという声もあり、最終的に有料であることから南は参加しなかった。

大野委員：他の演目をやろうとしたら、足りない分が出てくる。緑だけでは限界もある。

岡本分館長：そのとおりだが、あくまで行政の事業なので、予算の範囲でできることを検討する必要がある。その際、かつて実施した内容の物をやることもあるかもしれない。

東委員：他はよろしいか？よければ次へ。

(2) 夢農園について

岡本分館長：夢農園について報告する。10年以上実施してきた事業だが、民地を借りており、その所有者が高齢であることから、何かあれば即返却を求められている土地である。今回の夢農園は年間を通じて実施している事業であり、年度途中で終わってしまうと参加者にも迷惑をかけるし、今置いている物を撤去する必要なども出てきて、対応が大変になることを考慮し、令和3年から貫井南分館の実施している江戸野菜と統合し、場所も東京学芸大学で実施していくこととした。一部、長年参加されている方々には伝えた。統合後は、緑分館が中心となって実施していく。

長坂委員：場所は学芸大学の中のどのへんか。

岡本分館長：国分寺よりの場所である。NICTの近くの入口から入ると近い。

長坂委員：江戸野菜はどこが中心となっているのか。

岡本分館長：南分館である。

大野委員：夢農園の方の反応は。

岡本分館長：私のところに声は届いていない。金子さんは聞いているか。

金子主事：聞いていない。

横須賀委員：年度内で統合はできないのか。

岡本分館長：長年参加されている方や大学との関係もあり、時間をかけてしっかりやる予定である。

横須賀委員：本来、1年ごとの事業であれば、そんなに時間をかける必要があるのか。

岡本分館長：そのとおりであるが、長年参加されている方のことを考え、丁寧に進めていきたいと考えている。また、大学との関係があり、主担当が緑に代わるので、大学との意思疎通をしっかりする必要がある。

長坂委員：今まで別々にやっていたものを一つにするのは、うまくできるのか。

岡本分館長：そのとおりである。なので、今月、南分館と状況の整理をしていく予定である。

東委員：他はよいか。ならば次へ。

2 協議事項

(1) 来年度事業について

岡本分館長：まず、野外研修から話をさせていただきたい。前回候補に挙がっていた5か所について報告する。軍港めぐりは乗船料がかかり、時間も片道で2時間半程度かかる。豊洲見学は、片道1時間ちょっとで行けるが、豊洲見学の民間ツアーも色々あり、どこに頼

めばよいのか悩んでいる。また、予算の問題もあり、どのようにすべきか吟味する必要がある。鎌倉は、北鎌倉あたりを見学する。片道3時間かかることと、見学は全て徒歩だということがデメリット。川越は、シルバー人材センターのガイドツアーがある。歩きながら見学をするが、2時間程度。また、高齢者学級で山梨なども行ってる。

大野委員：時期はいつ頃か。

岡本分館長：時期もそうだが、土日だとかなり混雑している。あと、葛西臨海水族園は土日だと団体ツアーがない。生き物レクチャーをしてから見学となると平日のみ。大人向けにやるのであればよいが、子どもも参加できるツアーにするには夏休みなどになる。来年度の予算で交通費を要求する必要がある、2か所決定できればと思っている。また、前回出ていなかったところでも、もし「ここがよい」というところがあればそこも候補に挙げることは可能である。最後に迎賓館が抜けていた。迎賓館は2か月前からしか受付ができず、ぎりぎりなので予約ができるか微妙なところがある。また、駐車場もない。

東委員：どうするか。迎賓館方面、横須賀方面、川越方面、鎌倉方面、葛西臨海水族園などあるが、どうするか。

大島委員：個人的には葛西臨海水族園がよい。

岡本分館長：成人学校で考えていたが、子ども体験講座として考えるのであればある。

大野委員：来年、豊洲方面はオリンピックもあるので難しいのではないかな。

岡本分館長：時期を考えていなかった。

横須賀委員：夏でなければよいのではないかな。

岡本分館長：混む時期を避ける、もしくは、都内を避けるというところを考える必要がある。あと、我々の実踏もあるので、調整が必要である。さらに、企画実行委員会の入れ替えもあるので、いろいろと考えることが多い。

横須賀委員：夏の川越は暑い。

岡本分館長：それであれば、10月から11月ごろを予定する。

東委員：それであれば、川越方面と山梨方面であれば混んでいないのではないかな。

岡本分館長：了解した。では、時期は別途調整をするが、川越方面と山梨方面で高速代を要求していこうと思うが、9月のとき決定とさせていただくので、それまでに意見等あれば言っていたきたい。

3 その他

岡本分館長：スケジュールを裏面に記載している。

次回の会議 令和元年9月3日(火) 午前10時

公民館緑分館 学習室 司会：大野委員